

植物の体のつくりと働き(1)

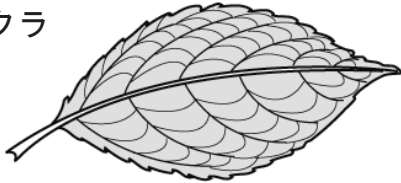
名前

1 次の文章は、葉のつくりと働きについての説明である。() に当てはまる言葉を書くか、○でかこみなさい。

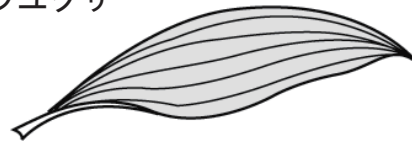
- (1) 生物の体を形づくる小さな部屋のようなもの一つ一つを (①) といい、これはすべての生物の体の基本単位である。
- (2) 葉の表皮には (三日月・ドーナツ) 形の細胞が2つ向い合わせに並んだものがある。この細胞を (② 呼吸細胞・孔辺細胞) といい、2つの②に囲まれたすきまを (③) という。
- (3) ③は葉の (表・裏) 側に多く、②に見られる緑色の粒は (④) である。
- (4) 植物が根から取り入れた水が、③から水蒸気となって出る現象を (⑤ 呼吸・蒸散) という。⑤は、気孔が (開いて・閉じて) いるときに行われる。
- (5) 葉脈は管が束のようになってできている。これらの管のうち、根から吸い上げた水や養分などが通るものを (道管・師管) といい、葉で作られた栄養分が通るものを (道管・師管) という。また、道管と師管の束をまとめて (⑥) と呼ぶ。
- (6) 植物が光を利用して (酸素・二酸化炭素) と水から、デンプンなどの栄養と (酸素・二酸化炭素) をつくる働きを、(⑦) という。
- (7) 植物は動物と同じように (酸素・二酸化炭素) を取り入れ、(酸素・二酸化炭素) を放出する (⑧ 呼吸・蒸散) を (一日中・夜の間だけ) 行っている。
- (8) 昼間の植物は⑦を盛んに行うため、全体としては (酸素・二酸化炭素) を取り入れ、(酸素・二酸化炭素) を放出しているように見える。

2 下の図はサクラとツユクサの葉脈の様子を表している。以下の問いに答えなさい。

■サクラ



■ツユクサ



- (1) サクラのように網の目のように広がる葉脈を何というか。
- (2) (1)の葉脈をもつ植物は、単子葉類と双子葉類のどちらか。
- (3) ツユクサのように平行に並ぶ葉脈を何というか。
- (4) (3)の葉脈をもつ植物は、単子葉類と双子葉類のどちらか。

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	